

長浜きもの親善大使の揚田菜依さんに登場いただきました。明治浪漫あふれる長浜の迎賓館「慶雲館」に入ると、甘い梅の香りが出迎えてくれます。展示も新しくなりさらに見どころが加わった「長浜盆梅展」にぜひお越しください。(1月5日撮影)



▲全国障害者スポーツ大会で活躍する河瀬さん



～一歩ずつ着実にタイムを縮めたい～

長浜市立東中学校2年生
かわせ ゆうか
河瀬 優花さん(七条町)

撮影場所：エル・アテインスイミングスクール長浜(八幡東町)

「今はタイムがどんどん縮まってくのが、楽しいんです」。目を輝かせながら話す河瀬さん。昨年の全国障害者スポーツ大会に県代表として出場した水泳選手です。
両足に先天性のしょうがいがある河瀬さんが水泳を始めたのは5歳のとき。物心がついた頃から水が大好きで、水たまりやお風呂で遊んでいた河瀬さん。それを見たお母さんが勧めたのがきっかけでした。「最初バランスを取るのが難しく、溺れかけて…。練習に行くのが嫌で泣いてしまったこともあります」と笑いながら当時を振り返ります。そこからすぐにコツをつかみ、水泳に熱中するようになりました。
そんな河瀬さんですが、実は一度水

泳をやめたことがありました。「小学校6年のころに友達がスイミングをやめていって、私もやめようかなと思った」と河瀬さん。同時に、興味があった車椅子バドミントンを始めました。
バドミントンに励んでいた中学1年の夏ごろ、知り合いに「パラの水泳大会に出てみないか」と勧められました。「今までタイムをあまり気にしていなくて、自分が速いかどうかかわらなかった」という河瀬さんですが、様々な年齢の人が出場する大会で初出場・初優勝します。その後、全国大会に出場し好記録を出し、パラのアスリート発掘事業の選手として声をかけられます。そこから毎日の家で行う自主トレと、週2回のプールでのトレーニングの成果もあり、昨年、国内での最

高峰の大会「ジャパンパラ水泳競技会」に出場。100m自由形の予選で1分33秒台の自己ベストを記録して、予選を突破。決勝では世界1位の招待選手と同じレースを泳ぎました。「30秒くらい差をつけられましたが、世界レベルを体験できて良かった」と河瀬さん。その後行われた全国障害者スポーツ大会では25m自由形で大会新記録を出して優勝しました。「応援に来てくれたみんなの前で結果を出せて、とても嬉しかった」と喜びを表します。
これからの目標は2024年に行われる“パリパラリンピック”。「今、100mで30秒ある世界のトップとの差を、練習量を増やして、着実に縮めていきたい」。内に秘める熱い闘志で、世界のトップに向かい、進み続けます。

Smile Smile

このコーナーでは、市内在住のお子さんたちの写真を掲載します。笑顔と元気あふれるお子さんたちの写真を募集しています。掲載を希望する人は市民広報課(☎65-6504)まで申込みください。



いつも笑顔でまわりを幸せにしてくれることちゃん♡生まれてきてくれてありがとう🍀これからも元気にすくすく育ってね♡

栗田 琴羽ちゃん(平成30年2月生まれ)
(宮司町)

岩崎 由紗ちゃん(平成24年6月生まれ)左
(南高田町)



いつも優しいゆさちゃん!これから元気いっぱい育ってね。おしゃべり大好きで元気なゆさちゃん。これからもすくすく育ってね!

まちの人口	平成31年1月1日現在	人口118,498人	男58,035人	女60,463人	世帯数45,726世帯
	平成30年12月中の異動	転入212人	転出217人	出生78人	死亡115人 婚姻39件